

令和 5 年度 洛友会東京支部総会

令和5年6月25日(日)
於 学士会館／Web 会議

議事次第

- 開会の辞
- 支部長挨拶
- [第一号議案] 令和4年度行事・活動報告
- [第二号議案] 令和4年度決算報告および監査報告
- [第三号議案] 令和5年度の役員／評議員／幹事
- 支部長退任の挨拶
(役員交代)
- 新支部長挨拶
- [第四号議案] 令和5年度行事・活動計画
- [第五号議案] 令和5年度予算計画
- [第六号議案] 米寿・喜寿のお祝い
- 閉会の辞

付録1: 洛友会東京支部会則【令和元年6月30日改正】

洛友会東京支部ホームページ <http://www.rakuyukai.org/tokyo>
洛友会東京支部メールアドレス webmaster@rakuyukai.org

(ご参考)

京都大学アラムナイホームページ <http://www.alumni.kyoto-u.ac.jp/>

1. 令和4年度行事・活動報告

1.1 支部総会, 講演会, 懇親会

令和4年6月25日(日)、東京支部総会を学士会館にて開催しました。新型コロナウイルスの流行状況を鑑み、昨年と同様に①現地参加と②Microsoft 社 Teams による Web 会議を利用したオンライン参加とのハイブリッド形式で実施することとなりました。

当日の現地参加は9名、オンライン参加は15名で、議案についての意見を交わすことができ、盛会となりました。

【支部総会】

支部総会は午後2時より司会の佐々木総務幹事から Web 会議の進行方法について案内した後、尾上支部長による開会挨拶で始まりました。

まず、佐々木総務幹事より令和3年度行事・活動報告、南川会計幹事より決算報告が実施されました。活動報告では、昨年一年を通して新型コロナウイルスの影響下で、Web 会議を駆使しての支部総会を実施した一方で、秋の講演会、春の見学会の実施を断念したことが報告されました。また、趣味の会、拡大クラスなどの多くのイベントが昨年同様に中止となったものの、一部の活動についてはオフラインまたはオンラインにより実施されたことが報告されました。決算報告では、会計監査の結果、収支状況が適切と判断された旨が報告され、承認されました。

次に、令和4年度役員として、支部長 北條博史(S56)、副支部長 平山明(S57)、幹事 角田恭之(S58)、総務幹事 南川敦宣(H15)、会計幹事 堀内健介(H16)、庶務幹事 篠田健司(H16)、若手交流会幹事 佐々木純(H14)の就任が承認されました。その後、尾上前支部長から退任のご挨拶、北條新支部長から就任のご挨拶がありました。

尾上前支部長からは、パンデミックの中でも拡大クラス会などの活動がなされていることに加え、支部総会のハイブリッド開催に協力している役員・幹事への謝意が伝えられ、今後の同窓会活動への期待とともに退任のご挨拶をいただきました。

北條新支部長は、新型コロナの影響が継続しつつ収束の兆しも見える一方で、在宅勤務の継続など新たな生活様式「ニューノーマル」な社会への変容が起きている点に触れ、ニューノーマル時代の洛友会の活動のあり方について今年の役員・幹事と共に検討を進めていきたいとの抱負が述べられました。

続いて、令和4年度行事・活動計画と予算計画について南川新総務幹事より説明がありました。計画説明の中では、秋の講演会については一昨年同様に参加人数を絞った集合形式と Web 配信のハイブリッド形式で11月に開催予定であること、見学会も3月に開催予定であることが述べられました。その他の活動計画についても趣味の会、拡大クラス会、幹事会、若手活性化施策、支出削減策に継続して取り組むこと等の説明がありました。また本年度から令和6年度までの時限付きで趣味の会・拡大クラス会への補助金が従来の1万円から2万円へと増額することが案内されました。いずれの行事・活動計画も承認されました。

最後に、令和3年度に米寿を迎えられた橋本 道哉 様(昭和 33 年卒)、喜寿を迎えられた関 祥行 様(昭和 43 年卒)、松田 晃一 様(昭和 43 年卒)、山縣 振武 様(昭和 43 年卒)のお名前が紹介され、拍手とともに会議参加者より祝意が評されました。



尾上前支部長



北條新支部長

【講演会】

講演会では広島大学教授の角屋 豊様より「第一部:電気系でよかった(です) ～物理と応用の間で～」 「第二部:座談会 日本企業における博士の役割・重要性」と2部に分けての講演をいただきました。

冒頭にご自身のプロフィールとともに「電気系のいいところは幅が広いこと。物理、材料、情報、システム、と色々なものをカバーできていて、私がこれまでやってきたことがまさに電気系です。」と述べられました。在学中から卒業後の企業での活動、そして大学での研究から現在に至るまでの取り組みを紹介されました。

そして電気系卒業生であれば必ず授業で習う八木宇田アンテナに触れたことを皮切りに、最近の研究テーマとして金属を扱う光工学であるプラズモニクスに話題が移りました。八木宇田アンテナは電波を取り扱いますが、これの光バージョンを制作。指向性もブロードバンド性もそれなりで使いやすいという特性が「光八木宇田アンテナ」においても同様であることが明らかとなり、角屋様の論文がここ 10 年にわたり毎年30件以上の引用がされていると述べられました。「光八木宇田アンテナ」の評価内容を解説いただいた後に、ご自身が研究をとて楽しんでられるとのコメントをされ、第一部を終えました。

次に第二部として日本企業における博士の役割・重要性について、まずは日本国内の状況を博士後期課程の経済的な支援を中心に据えて紹介いただきました。国による支援の他に広島大学での支援を説明され、同大学では有資格者の約4割以上が支援を受けられる手厚いサポート環境があることが参加者に共有されました。その上で本テーマに対しての意見を講演会の参加者へ募られました。参加者からは「海外とやりとりするならドクターである方が有利だ。」、「大学がどんな人を育てようとしているか、企業がどんな人を採用しようとしているか、マッチングが重要だ。」、「ドクターのレベルが落ちているように感じる。日本全体として競争力の復活のために考えなければならない。」、「研究に長く従事したことが企業での採用にあたり制約条件として働いてしまうという側面もある。」といった意見が活発に出されました。最後に角屋様から大学として学生を育てることにこれからも注力すると述べ、講演を締められました。



現地会場



角屋教授

洛友会東京支部総会・講演会
2022年6月26日@学士会館&オンライン

第一部:電気系でよかった(です) -物理と応用の間で-

広島大学
角屋 豊
(1984年学部卒, 1986年修士)



講演会資料

〔報告〕 会計幹事 堀内 健介(H16 年卒)

1. 2 秋の講演会

令和 4 年 11 月 26 日(日)に秋の講演会を開催しました。昨年は新型コロナウイルスの影響により開催を断

念したため、2年ぶりとなりました。Microsoft 社 Teams による Web 会議と講演会場での聴講を併用するハイブリッド方式としました。現地参加が 6 名、オンライン参加が 9 名。北條支部長が冒頭の挨拶で、尾上前支部長が ITU の理事になられたことに触れた後に、講演いただく村山様の略歴を紹介しました。

今回は、国立研究開発法人 産業技術総合研究所(産総研)副理事長／研究開発責任者の村山宣光様より「持続可能な社会の実現に向けた産総研の取り組み」と題してご講演いただきました。村山様は昭和 59 年に京都大学大学院工学研究科電子工学専攻修士課程を修了され、京セラ株式会社へ入社。同社での積層セラミックコンデンサの開発や、米国マサチューセッツ工科大学(MIT)などのキャリアを経て現在は産総研の研究開発を取りまとめられています。

村山様はまず「産総研の最近の取り組みを紹介させていただき、日本の経済をみなさんと一緒に盛り上げ、問題の解決に向けていければと考えています」との洛友会への激励の言葉を述べられ、ご自身の経歴を紹介されました。続いて産総研の成り立ちとして NHK の番組「ブラタモリ」を引き合いに、明治時代には国内の資源配置を知ることが重要であり、現在でも関連分野の技術としてアンモニアの合成や炭素繊維の開発と航空機への応用など日本の産業技術を次々と生み出してきたことを示していただきました。現在の産総研は人員 1 万人規模で活動しており、官民双方の資金をもとに運営され、全国に 11 拠点を展開。社会課題の解決をビジョンに掲げて研究を進めていることに触れられ、近年では先端基盤技術として AI、量子、半導体、マテリアルの 4 つを掲げていることを説明されました。量子分野では超伝導量子ビットの製作を得意としていること、マテリアルでは中国の激しいキャッチアップがある中で情報学の手法を活用した Materials Informatics と Process Informatics の研究開発を進めていることを強調されました。さらに、4 つの社会課題「エネルギー環境制約」「少子高齢化」「国土強靱化」「with コロナ」を定義し技術面のみならず民間企業との連携や行政とのコミュニケーションによるルール of the road の整理なども実施されているとのことでした。

日本の最大規模の研究機関として社会へ向けて多大な貢献をされている凄みを、研究開発責任者を務められている村山様から直に伺える貴重な講演をいただきました。質疑では研究開発を活性化させるためのエコシステムについての姿勢や、複数の組織と連携する際のリソース配分の考え方など、実践的な勘所を教えてください、密度の高い講演会となりました。



村山様のご講演



北條支部長の挨拶

〔報告〕 会計幹事 堀内 健介(H16 年卒)

1. 3 見学会

令和4年度は新型コロナウイルスの影響により見学会の実施は断念致しました。

〔報告〕 総務幹事 南川 敦宣(H15 年卒)

1. 4 若手交流会

令和元年度から企画・開催された院卒1年目を対象とした歓迎会ですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から令和3年度に続き令和4年度も中止といたしました。

〔報告〕 若手交流会幹事 佐々木 純(H14 卒)

1.5 趣味の会

名称	令和4年度幹事
囲碁会	向井 利典(S41卒)、喜多村 滋(S36卒)
麻雀会	船山 眞弘氏(S39修卒)
ゴルフ会	古澤 久具氏(S35卒)、山澤 穰氏(S38卒)、田崎 信氏(S44卒)
洛謡会	村上 薫氏(S36卒)
テニス会	山内 英樹氏(S44卒)、田中 喜男氏(S44卒)、成松 洋氏(S46卒)

入会のご希望、またはお問い合わせがございましたら、以下のアドレスにメールをご送付ください。

- ・囲碁会 igo@rakuyukai.org
- ・麻雀会 mahjong@rakuyukai.org
- ・ゴルフ会 golf@rakuyukai.org
- ・洛謡会 utai@rakuyukai.org (宝生流、観世流の謡会)
- ・テニス会 tennis@rakuyukai.org

●囲碁会活動報告

幹事 向井 利典(S41卒)、喜多村 滋(S36卒)

新型コロナウイルスの蔓延状況により囲碁会の活動はしばらく休止していたが、囲碁会メンバーからの要望に応えて令和4年度では約3年ぶりに活動を再開した。囲碁会メンバーの大半が前年度末には3回以上のワクチン接種を終えていたとはいえ、6月末に活動再開をアナウンスした直後から第七波が始まり、状況を注視していたが、9月に入って収束に向かいつつある状況に鑑み、下記のように活動を再開した。なお、会場は従来の碁会所ではなく、日本棋院の一般対局室を選定した。日本棋院では入場時の検温、手指消毒、マスク着用の義務、碁盤の中央に透明のアクリル板を設置するなど、感染対策の整備はよくできていると思われるが、リスクはあくまでも個人の判断に委ねる旨のアナウンスをして参加者を募った。その結果、参加者は以前に比べて若干少なかったが、会場は空いていて、本活動による感染報告はなかった。

各回の参加者と成績優秀者は以下の通りである。

参加者数と成績：

各回の参加者数、成績優秀者(3戦全勝者)は以下の通り(卒年順、敬称略)

◇ 第一回(R4年9月25日)

参加者 12名

優秀者 なし。但し、2勝1敗以上の準優秀者が5名。

◇ 第二回(R5年3月5日)

参加者 14名

優秀者 大西和夫(S33年卒)、向井利典(S41卒)

運営方式：

対局方式は各自の持点によるハンディキャップ制とし、午後の半日の時間内(原則12時～17時)に対局した最初の3局の成績に応じて賞品(図書カード、または QUO カード)を進呈している。時間の許せる人は4局目以降も対局し、結果は次回の持点に反映する方式をとっている。

参加人数は10年ほど前までは20～25人であったが、その後、残念ながら漸次減少傾向にある。これは、最近では新規参加がほとんどなく、平均年齢が毎年上昇している状況による。令和4年度参加者の約半数はS40年卒以前(80歳以上)であり、活発に活動されている事には大変敬服する次第であるが、一般的な囲碁人口の比率からすれば、もっと多くの中堅・若年層の参加があつて然るべきである。新規参加が切望される由縁である。

囲碁会は「気軽に参加し、気楽に楽しむ」ことをモットーに、例会開催日直前での参加や取消しにもフレキシブルに対応し、集合・解散の時間も個々自由にできる、いわゆる「好きな時に来て好きな時に帰る」方式をとっている。現在の参加者の棋力は高段者から級位者まで広く分布しているが、持ち点制のハンディキャップ採用により、どんなに棋力の差があつても対等に対局でき、盤前に対座すれば親子孫ほどの年齢差に関係なく、世代を越えて和やかな雰囲気に対局を楽しむことができるので、興味のある方はどうぞ気軽にご参加いただきたい。

なお、まだ仕事が多忙な世代も参加しやすいように日曜日に開催している。

令和5年度の囲碁会幹事は、向井利典(S41年卒)と内海一成(H8年卒)が務めます

以上

●麻雀会活動報告

幹事 船山 眞弘(S39修卒)

新型コロナの影響でまったく活動できませんでした。

令和5年度の幹事は石黒 公(S40卒)が務めます。

以上

●ゴルフ会活動報告

幹事 古澤 久具(S35卒)、山澤 穰(S38卒)、田崎 信(S44卒)

洛友会ゴルフは新型コロナの影響で平成4年度は開催していません。

以上

●洛謡会活動報告

幹事 村上 薫(S36卒)

謡会を年間3回実施していますが、本年は前年コロナで2回しか実施できませんでしたので4回実施しました。

- 1) 第167回洛謡会 令和4年5月31日(火) 於 目黒勤労福祉会館
曲目: 采女(宝) 東北(観) 通盛(宝) 隅田川(観)
- 2) 第168回洛謡会 令和4年8月30日(火) 於 目黒勤労福祉会館
曲目: 蟻通(観) 芭蕉(観) 自然居士(宝) 源氏供養(宝)
- 3) 第169回洛謡会 令和4年12月27日(火) 於 目黒勤労福祉会館
曲目: 女郎花(宝) 巴(観) 井筒(宝) 浮舟(観)
- 4) 第170回洛謡会 令和5年3月21日(火・祭) 於 目黒勤労福祉会館
曲目: 八島(宝) 阿漕(観) 小鍛冶(宝) 花筐(観)

宝生流と観世流で毎回2曲ずつ謡っています。曲により難しさもいろいろですが、能の舞台となった昔を偲びながら大声を出して、楽しんでおります。

謡のご経験のある方がおられましたら是非ご参加ください。

昭和44年に始まる伝統ある古典芸能の会です。以前は謡曲と言えば紳士の教養でしたが、大先輩が次々と亡くなり寂しい限りです。火を消さぬよう続けてゆきたいと願っています。

以上

●テニス会活動報告

幹事 山内 英樹(S44卒)、田中 喜男(S44卒)、成松 洋(S46卒)(文責)

洛友会東京支部テニス会は、開始より約半世紀の伝統を持っています。昭和50年代初頭からほぼ毎月1回の頻度で週末あるいは祝祭日での例会を実施してきました。この2-3年は新型コロナの影響で、例会を開催している会場が閉鎖される期間がありましたが、徐々に制限も緩和され、多くの皆さんが積極的に参加されて、テニスを楽しみました。会場は確保できたものの、雨天中止になった例会が2回あったのが残念でした。

この通常の活動拠点は、首都高速道路東京インター(用賀)近くにある、砧公園やNHK技術研究所に隣接の大蔵第二運動場です。毎回、テニスコート1面を2時間確保して、ダブルスのゲームを楽しんでいます。最近新規に参加された会員も増えて、賑やかにプレーをすることができており、関東圏に居住の広範囲の会員諸氏が参加されています。

これからも楽しくテニス会を継続して会員諸氏の健康維持に貢献していきたいと願っています。少しでも体を動かすことに興味をお持ちの皆様、初心者の方も大歓迎ですし勿論腕に自信のある方も、ぜひ幹事までご一報くださるよう、お待ちしております。

回	開催予定／実施日			参加人数	開催場所
1	令和4年	5月15日	(日)	6名	世田谷区大蔵第二運動場
2		5月29日	(日)	7名	世田谷区大蔵第二運動場
3		6月26日	(日)	8名	世田谷区大蔵第二運動場
4		8月21日	(日)	5名	世田谷区大蔵第二運動場
5		9月18日	(日)	雨天中止	世田谷区大蔵第二運動場
6		10月23日	(日)	8名	世田谷区大蔵第二運動場
7		12月11日	(日)	5名	世田谷区大蔵第二運動場
8	令和5年	3月5日	(日)	7名	世田谷区大蔵第二運動場
9		3月26日	(日)	雨天中止	世田谷区大蔵第二運動場

以上

1.6 拡大クラス会

名称	令和4年度 幹事
京極会[S35～S39卒]	榊 博史(S35)
洛粹会[S40～S44卒]	浜口 友一(S42)
洛談会[S45～S49卒]	成宮 憲一(S49)
洛笑会[S50～S54卒]	伊藤 八大(S54)
喜洛会[S55～S59卒]	北條 博史(S56)
洛泡会[S60～H1卒]	大矢智之(S62)、水本政宏(S63)
洛成会[H2～H6卒]	中原 智勇(H2)
百万遍会[H7～H11卒]	山本 輝哉(H10)
洛晶会[H12～H16卒]	増崎 隆彦(H13)

●京極会[S35～S39卒]

幹事 榊 博史(S35)

昭和35年～38年までの学年横断的会合である京極会の 2022 年度会合をコロナも下火になったことから令和5年4月19日 12:30 分より 15:00 まで学生会館にて開催した。参加者は5名と少数であったが、少人数なりの親しい懇談ができた。

懇談の中で馬場征彦氏(S37 電子)は現在活動拠点としている東京八王子プロバスクラブについて話した。プロバスクラブは第一線から退いた職業人や実業家による親睦と社会貢献をおこなうクラブで、全国に約 45 クラブがあること、東京八王子プロバスクラブは会員 51 名、親睦(ゴルフ、囲碁、合唱等 10 種)や八王子市立小中学校・音楽祭等の地域社会への奉仕活動をしていることを話した。

竹井大輔氏(S37 年電子)は元鉄道マンらしくトーマスクック時刻表に頼らずの現地で情報を PC で得つつ欧州旅行とする方法について話した。

村上薫氏(S36 電子)は開発に携わった衛星受信機で前日の台風にてずれたアンテナを用いて雑音交じりながれメキシコオリンピックの中継に成功した話をした。

藤江恂治氏(S37 年電気)は国鉄技研技師長であった当時、崎リニア実験線で ML500 型車両が時速 500 キロの走行に成功した際の動画を手のひら大のプロジェクタを使って上映して下さった。

幹事の榊博史(S35 電子)はいまだに機械翻訳方式について調査を行っていることを話した。

来年はコロナの影響がさらに減少することが見込まれているところから、より多数の参加を期待している。

京極会には竹中理氏(S37 電子)が幹事をしている京極会ゴルフ会があり、この活動は京極会本会合より盛んであり、令和4年11月と令和5年4月の2回プレイを開催した。

令和5年度の京極会幹事は 村上 薫(昭和36年)に変更となります。

以上

●洛粹会[S40～S44卒]

幹事 浜口 友一(S42)

令和4年度は活動ありませんでした。令和5年度はコロナの5類移行で活動再開の予定です。
幹事は浜口友一で変更ありません。

以上

●洛談会[S45～S49卒]

幹事 成宮 憲一(S49)

令和4年度は活動ありませんでした。令和5年度の幹事に変更はありません

以上

●洛笑会[S50～S54卒]

幹事 伊藤 八大(S54)

2022年度も活動無しでした。
2023年度は、新型コロナウイルス感染症も5類に移行したこともあり、活動再開したいと考えています。

以上

●喜洛会[S55～S59卒]

幹事 北條 博史(S56)

令和4年度もコロナの影響で開催しておりません。
令和5年度の幹事は変更ありません。

以上

●洛泡会[S60～H1卒]

幹事 大矢智之(S62)、水本政宏(S63)

令和5年3月20日(月)、JR 田町駅近くのイベント会場にて久々の対面形式でクラス会を開催しました。総勢15名の参加があり、和気あいあいとした雰囲気の中、それぞれの近況報告等を行い、来年度の再会を約して盛会のうちにお開きとなりました。

令和5年度の幹事は水本政宏(S63)、菅谷靖(H01)の二名で行います。



以上

●洛成会[H2～H6卒]

幹事 中原 智勇(H2)

洛成会については、新型コロナの影響で開催しませんでした。
令和5年度の幹事は変更ありません。

以上

●百万遍会[H7～H11卒]

幹事 山本 輝哉(H10)

新型コロナの影響もあり、令和4年度の開催を見送りいたしました。
令和5年度につきましては、新型コロナ5類引下げになったことから開催を実施する予定です。
令和5年度の幹事は変更ありません。

以上

●洛晶会[H12～H16卒]

幹事 増崎 隆彦(H13)

新型コロナも落ち着きつつあることから、2023年3月10日に新橋の居酒屋に有志5名で集まり、最先端AI(人工知能)技術の動向や会計コンプライアンスに関する意見交換、そして本拡大クラス会の名称決定を行いました。

拡大クラス会の名称は、今をときめく chatGPT から助言をもらい、「洛晶会」に決定しました。

以下、chatGPT とのやり取りです。(H13 卒増崎隆彦)

【Q】

同窓会の名前を考えています。「洛●会」にしたいのですが、「●」の部分に良い漢字一文字を提案してください。「2000年」や「平成12年」にちなんだものが良いです。

【A】

「洛●会」の「●」には、「2000年」や「平成12年」にちなんだ漢字一文字を入れるということですね。いくつかの候補を挙げてみます。

「洛式会」:「式」は「2000」を漢字一文字で表したものです。同窓会の名前としては珍しいかもしれませんが、目立つと思います

「洛仁会」:「仁」は平成12年の干支である辰の五行(木火土金水)に対応する十干(甲乙丙丁戊己庚辛壬癸)の一つです。また、「仁」という字は人間性や道徳心を表す美しい意味を持ちます。

「洛晶会」:「晶」は水晶や結晶など、透明で美しいものを表す漢字です。「2000年」という数字に見えることから、この名前を選んだ方がいます。また、「晶」という字は光や明るさを連想させます。

以上が私の提案です。どれがお気に入りですか？

【Q】

「洛晶会」が良いですね。でも、「晶」の字が「2000年」に見えるという説明がわかりません。解説を追加してください。

【A】

「洛晶会」がお気に入りとのこと、ありがとうございます。「晶」の字が「2000年」に見えるという説明について、もう少し詳しく説明します。

「晶」という字は、上から下に「日」「日」「日」という三つの部分から構成されています。この三つの「日」をそれぞれ「1」と読み替えると、「111」という数字になります。そして、「111」を二進法(0と1だけで数字を表す方法)で十進法(0から9までで数字を表す方法)に変換すると、「7」という数字になります。さらに、「晶」という字は左右対称ですから、左右反転しても同じ字になります。このようにして、「晶」の字は二つ並べると、「77」という数字に見えます。そして、「77」を十六進法(0から9までとAからFまでで数字を表す方法)で十進法に変換すると、「2000」という数字になります。

以上が、「晶」の字が「2000年」に見えるという説明です。少し難しいかもしれませんが、理解できましたか？(chatGPT)



以上

1. 7 幹事会

日時: 令和4年5月15日 13:30~15:00

場所: Web 会議

議題:

1. 令和3年度行事・活動報告
各幹事から活動報告がされました。見学会、若手交流会、趣味の会や拡大クラス会等の多くのイベントがコロナウィルス流行の影響により中止となった旨が共有されました。
2. 令和3年度決算報告
南川会計幹事からの決算報告、北條監事からの監査報告があり、決算内容が承認されました。
3. 令和4年度役員／評議員／幹事
佐々木総務幹事より説明があり、次期役員／評議員／幹事が承認されました。
4. 令和4年度行事・活動計画
佐々木総務幹事から、新型コロナウイルスの感染拡大に留意しつつ、可能な限り例年通りの活動をする計画であることが説明され、行事・活動内容が承認されました。
5. 令和4年度予算計画
南川会計幹事から計画が説明され、承認されました。

1. 8 京都大学同窓会東京支部連絡会

例年、在京の同窓会で開催されていた連絡会議および交流会ですが、新型コロナウイルスの影響を受け、開催が見送られました。

〔報告〕 北條支部長(S56)

1. 9 課題への取り組み報告

(1)登録会員(連絡先が把握できている会員)数向上について

まずは、会員に各種情報を届けるためのメールアドレスの把握・現行化のため、以下の取り組みを実施しました。

- ① 機会あるごとに、洛友会 HP における会員情報変更手順を記載することで、連絡先の現行化を依頼。
- ② 令和元年度より計画している 9 つ目の拡大クラス会(H12~H16 卒)ですが、第1回会議をオンラインで開催致しました。今後は新型コロナウイルスの状況に応じて本格的な活動開始を目指します。

今後も支部役員・学年幹事・拡大クラス会幹事が連携し、当会との関係が疎遠になりがちな(特に、若手)会

員に対し、当支部主催のイベントはもちろんのこと、京都大学全学同窓会等が開催する各種イベントの案内等をより多くの会員に届けることとします。

(2) 若手活性化施策について

卒業して間もない若手会員に、洛友会東京支部の存在そのもの、そして、その活動を認識してもらうため、東京支部エリアに就職した院卒1年目(R2 学部卒)を対象とした歓迎会ですが、本年度は新型コロナウイルスの影響で開催できませんでした。

(3) 全学同窓会活動について

例年、東京支部連絡会議に参加し、全学同窓会活動との連携をはかっておりますが、令和4年度は新型コロナウイルスの影響で開催されませんでした。

(4) 支出削減について

令和4年度は、複数のイベントを中止したり規模縮小して開催したりしたため、収支が大幅に改善しました。収支改善は一時的なものですので、支出が過去数年の平均収入と同程度となることを目標とした下記の支出削減施策は継続して実施します。

- ・総会を除く支部イベントの案内は電子メールのみとする。
- ・片道ハガキ送付による総会の案内は、支部長より上の年次のみを対象とする。

1. 10 洛友会会報への寄稿

今年度は、東京支部からは下記の皆様に洛友会会報へご寄稿いただきました。

第 277 号(2022 年 7 月) 巻頭言 尾上 誠蔵 様(S55 卒、前東京支部長)

第 278 号(2022 年 10 月) 会員寄稿「国際剣道連盟への道のり(2/2)」 高森 毅 様(S57 卒)

第 280 号(2022 年 4 月) 会員寄稿「技術者人生 50 年と趣味」 橋本 茂男 様(S46 卒)

3. 令和5年度の役員／評議員／幹事

●役員

	令和5年度新役員(案)	令和4年度 役員
支部長	平川 明(S57) 秀和特許事務所	北條 博史 (S56) 無線 LAN ビジネス推進連絡会
副支部長	角田 恭之(S58) NTT データマネージメントサービス(株)	平川 明(S57) 秀和特許事務所
監事	安藤 隆朗(S58) 農業・食品産業技術総合研究機構	角田 恭之(S58) (株)NTT データアイ
総務幹事	堀内 健介(H16) 東芝デジタルソリューションズ(株)	南川 敦宣(H15) (株)KDDI 総合研究所
会計幹事	松ヶ谷 篤史(H17) KDDI(株)	堀内 健介(H16) 東芝デジタルソリューションズ(株)
庶務幹事	篠田 健司(H16) JAXA	篠田 健司(H16) JAXA
若手交流会幹事	南川 敦宣 (H15) (株)KDDI 総合研究所	佐々木 純 (H14) (株)NTT ドコモ

●学年幹事

卒年	令和5年度 学年幹事	(参考) 令和4年度 学年幹事
S24	舟田 正男	←
S25	山田 昭二郎	←
S26	青山 善次	←
S27	室賀 弘	←
S30	葉原 耕平	←
S31	鍵山 圭一郎	←
S34	川本 幸雄	←
S35	榊 博史	←
S36	村上 薫	←
S37	藤江 恂治	←
S38	関 清三	←
S40	田島 孝	←
S41	森田 浩三	←
S42	浜口 友一	←
S43	志賀 正	←
S44	井上 英也	←
S45	逢坂 福信	←
S46	高重 哲夫	←
S47	杉山 守	←
S48	蓮池 和夫	←
S49	成宮 憲一	←
S50	川原崎 雅敏	←
S51	辻本 雅彦	←
S52	古川 清二	←
S53	伊東 康之	←
S54	伊藤 八大	←
S55	尾上 誠蔵	←
S56	岡田 英俊	←
S57	平川 明	←
S58	柴沼 敏郎	←
S59	藤田 善弘	←
S60	田村 俊之	←
S61	中村 眞	←

S62	大矢 智之	←
S63	水本 政宏	←
H1	菅谷 靖	←
H2	中原 智勇	←
H3	鎌田 照己	←
H4	的場 直人	←
H5	松野 知愛	←
H6	(未定)	(未定) R2 年度まで松村 善洋
H7	古屋 裕規	←
H8	森川 大補	←
H9	福原 忠行	←
H10	山本 輝哉	←
H11	竹田 真二	←
H12	保坂 幸治	←
H13	西尾 真貴	←
H14	佐々木 純	R4 年度まで辻野 孝輔
H15	南川 敦宣	←
H16	瓶井 悠	←
H17	松ヶ谷 篤史	←
H18	松嶋 孝明	←
H19	手島 邦彦	←
H20	(未定)	(未定) R3 年度まで大石 裕司
H21	小林 陽太郎	←
H22	(未定)	(未定) R3 年度まで本間 寛明
H23	(未定)	(未定) R3 年度まで北浦 宏祐
H24	下井 智裕	←
H25	松藤 浩平	←
H26	新谷 翔吾	←
H27	小熊 優太	←
H28	岡本 浩尚	←
H29	(未定)	R4 年度まで福原 真←

H30	(未定)	←
H31	(未定)	←

H32	(未定)	(新)
-----	------	-----

●評議員

卒年	令和5年度 評議員	(参考) 令和4年度 評議員
S23	仲本 秀四郎	←
S30	荒木 襄 魚住 重	←
S31	近藤 光洋	←
S32	三橋 堯	←
S34	橋本 勉 川本 幸雄	←
S35	西田 武彦 幸野 眞士 角 忠夫	←
S36	和田 昌美 前川 則夫	←
S37	竹居 敏夫 竹井 大輔 馬場 征彦 藤江 恂治	←
S38	伊吹 十之	←
S40	田島 孝	←
S41	向井 利典	←

S42	久樹 隆彦	←
S43	中野 貞彦 松田 晃一	←
S44	井上 英也	←
S45	塩見 正	←
S46	小澤 秀司	←
S47	大槻 兼市 遊佐 洋	←
S48	安田 豊	←
S49	成宮 憲一	←
S50	小森 光修	←
S50	横川 文彦	←
S51	下村 寛士	←
S52	得井 慶昌	←
S53	伊東 康之	←
S54	伊藤 八大	←
S55	尾上 誠蔵	←
S56	北條 博史	

●趣味の会幹事

名称	令和5年度幹事	(参考)令和4年度幹事
囲碁会	向井 利典(S41卒)、内海一成(H8年卒)	向井 利典(S41卒)、喜多村 滋(S36卒)
麻雀会	石黒 公(S40卒)	船山 眞弘(S39修卒)
ゴルフ会	古澤 久具(S35卒) 山澤 穰(S38卒)、田崎 信(S44卒)	←
洛謡会	村上 薫(S36卒)	←
テニス会	山内 英樹(S44卒)、田中 喜男(S44卒) 成松 洋(S46卒)	←

●拡大クラス会幹事

名称	令和5年度幹事	(参考)令和4年度幹事
京極会[S35～S39卒]	村上 薫(S36年)	榊 博史(S35)
洛粋会[S40～S44卒]	浜口 友一(S42)	←
洛談会[S45～S49卒]	成宮 憲一(S49)	←
洛笑会[S50～S54卒]	伊藤 八大(S54)	←
喜洛会[S55～S59卒]	北條 博史(S56)	←
洛泡会[S60～H1卒]	水本 政宏(S63) 菅谷 靖(H1)	大矢 智之(S62) 水本 政宏(S63)
洛成会[H2～H6卒]	中原 智勇(H2)	←
百万遍会[H7～H11卒]	山本 輝哉(H10)	←
洛晶会[H12～H16卒]	堀内 健介(H16)	増崎 隆彦 (H13)

6. 米寿、喜寿を迎えられる方々

洛友会東京支部 支部会則 第13条 に基づき、総会案内の返信にてお申し出のあった以下の対象の方々に、会員より祝意を表するものです。

米寿お祝い対象者： 数え年88歳(昭和11年生まれ)の方

喜寿お祝い対象者： 満年齢77歳(昭和21年4月1日～昭和22年3月31日)の方

1)米寿 (1名)

黒田 昭様(昭和 34 年卒)

2)喜寿 (3名)

築添 弘一様(昭和 44 年卒)、中尾 榮一様(昭和 44 年卒)、岡林 光志様(昭和 45 年卒)

－以上－

付録1:洛友会東京支部会則【令和元年6月30日改正】

(名 称)

第1条 本支部は洛友会東京支部と称する。

(事務所)

第2条 本支部事務所は総務幹事の所属勤務先またはそれに準ずるところとする。

(目 的)

第3条 本支部は会員相互の親睦を図り、学術文化の知識向上を図ること、並びに京都大学電気系教室の発展に寄与することを目的とする。

(行 事)

第4条 本支部は第3条の目的を達成するため次の行事を行う。

1. 見学会、旅行会、講演会等を開催する。
2. 拡大クラス会及び趣味の会を支援する。
3. 支部総会を年1回開催する。
4. 隔年の本部総会開催時は協力、支援する。
5. 本部による会員名簿の発行、広告募集に協力する。
6. 米寿および喜寿の会員に対し祝意を表する。
7. その他本支部の目的を達成するに必要な行事を行う。

(会 員)

第5条 本支部の会員は以下の通りとする。

1. 会員

本支部は洛友会会員で原則として関東地区に居住する者で組織する。またその周辺に居住するもので本支部に入会を希望するものは幹事会の議を経て入会する事を歓迎する。

2. 行事への参加

会員は総会に出席してその議決権を行使することができる。また、本支部の主催する各種行事に積極的に参加ならびに協力し、本会則ならびに総会及び幹事会の決議を遵守し、本支部の発展ならびに会員相互の交流促進をはかる。

3. 会費

会員は、洛友会会則により定められた会費ならびに支部会費を、年度の初めに一括して本部に、その他本支部行事参加費等本支部で定めた費用を、その都度遅滞なく納入する。

(役員及び役員会)

第6条 本支部には次の役員を置く。

1. 役員

(1)支部長 1名

本支部を代表し、会務を統括する。

(2)副支部長 1名

支部長を補佐し、支部長不在のときはその会務を代行する。

(3)総務幹事 1名

会務全般を処理する。

(4)会計幹事 1名

総務幹事を補佐し、会計事務を処理する。

(5)庶務幹事 1名

総務幹事を補佐し、ホームページ維持管理ほか幹事会で決議した特命事項を担当する。

(6)監事 1名

会計を監査する。

(7)若手交流会幹事 1名

若手交流会を処理する。

2. 役員の選任

(1)支部長及び副支部長は本支部総会の議を経て選任する。

(2)総務幹事、会計幹事、庶務幹事及び監事、若手交流会幹事は支部長が委嘱する。

3. 任期

役員の任期は1年とし、原則として再任は行わない。ただし、庶務幹事については再任を妨げない。

副支部長が翌年の支部長に就任すること及び会計幹事が翌年の総務幹事に就任すること総務幹事が翌年の若手交流会幹事に就任することが望ましい。役員は任期が満了した場合においても、後任者が就任するまではその職を継続する。

4. 役員会

役員は役員会を組織し、総会の付議事項を含め、本支部の目的達成のため重要事項を審議し幹事会に提案する。

(幹事及び幹事会)

第7条

1. 幹事会メンバー

幹事会メンバーは第6条で定められた役員及び幹事会で指名された評議員及び学年幹事ならびに趣味の会、拡大クラス会等ごとに選任された代表者各1名により構成され、毎年幹事会で確認の上登録する。

支部役員経験者を評議員に加えることを考慮する。

2. 任期

第6条で定められた役員を除き、幹事会メンバーの任期については特に定めない。

3. 幹事会の運営

幹事会は、原則年2回開催し、年度の支部活動方針ならびに活動の総括、総会の付議事項、その他必要な重要事項の審議を行い、承認する。議長は支部長が、書記ならびに事務局は総務幹事が、幹事会メンバーの賛同を得てこれに当る。

(総会)

第8条 総会は本支部の最高議決機関で、全会員で構成する。

1. 総会は原則として毎年6月に開催する

2. 総会は支部長が招集して、その議長となる。

3. 総会の招集は開催日の1ヶ月前までに議題、日時、開催場所等を記載した書面、ホームページ又は電子メールなどで通知する。

4. 議決は出席会員の過半数の賛成により決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(総会の付議事項)

第9条 総会の付議事項は次の通りとする。

(承認事項)

(1) 前年度の行事報告及び収支決算

(2) 当該年度の行事計画及び収支予算

(決議事項)

(1) 支部長、副支部長の選任

(2) 本支部会則の変更

(3) 本支部の解散及び残余財産の処分

(4) その他本支部活動に必要な重要事項

(総会の議事録)

第10条

1. 総会の議事録については、議事録を作成し、これを保存する。

2. 総会において議決された事項は、会員にホームページ、洛友会会報等にて通知する。

(経理)

第11条 本支部は支部会費、交付金、寄付金及び行事参加費をもって経理する。

(年度)

第12条 本支部の年度は4月1日に始まり3月31日に終わる。

(慶祝事)

第13条

1. 米寿(数え年88歳)及び喜寿(満77歳)を迎えられた方々に対し、総会にて会員より祝意を表する。

2. その他会員の特別の慶事に対しては幹事会の議を経て祝意ならびに記念品を贈呈する事が出来る。

(趣味の会活動)

第14条 本支部は、有志より活動申請に基づき幹事会の承認を受けて趣味の会を組織できる。趣味の会は、本支部にその活動状況を報告する。本支部は活動の補助金を出すことが出来る。

(拡大クラス会活動)

第15条 本支部は5年単位にて有志からの活動申請に基づき幹事会の承認を受けて拡大クラス会を組織できる。拡大クラス会は本支部にその活動状況を報告する。本支部は活動の補助金を出すことが出来る。また、5年単位での活動継続が困難となった場合は、幹事会の承認により、複数の拡大クラス会を統合して拡大クラス会活動を行うことができる。

(付則)

本支部会則は令和元年6月30日付にて施行する。